

1 月市長定例記者発表要旨

と き 平成27年1月7日（水） 11時～12時

ところ 庁議室

1 新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。本年も、よろしく願いいたします。

昨年末に職員の不祥事があり、大変申し訳なく、市民の皆様にご心からお詫び申し上げます。仕事始め式において、あらためて全職員が気持ちを引き締めるとともに、法令順守の徹底を訓示いたしましたところであります。

さて、新年のごあいさつを市報1月1日号の紙面に掲載いたしました。これ以外に、現在、国において「地方創生」の動きが活発になっています。本市においても、少子高齢化は大きな課題であります。先般、「まち・ひと・しごと創生」政策の5原則（①自立性、②将来性、③地域性、④直接性、⑤結果重視）が国から示されました。これからのまちづくりは、国が道を示すのではなく、それぞれのまちが自ら活性化に向け何をなすべきかが問われることとなります。情報の収集に努め、スピード感を持って取り組んでいかなければなりません。

このような動きも踏まえつつ、新市発足10周年という節目の年に当たり、27年度の予算編成も含め、活力ある取組を行っていきたいと考えております。

2 昨年を振り返って

(1) 市役所新庁舎の完成（2月10日開庁式、3月2日落成式）

市民の皆様が利用しやすく、防災対策にも十分配慮した新庁舎が完成しました。

(2) 女島埠頭水深14メートル岸壁供用開始（3月）

大分市の大在公共埠頭と並び、県内で最も水深があり、5万トン級の船舶が入港できます。「海の玄関」として、地元企業の発展と地域経済の活性化に大きく貢献するものと期待しています。

(3) 市制施行10周年記念プレ事業の実施

本年3月3日の市制施行10周年に先立ち、プレ事業として下記のイベントを開催しました。各会場とも、市内外からの多くの来場者でにぎわいました。

- ・全国子守唄サミット&フェスティバル2014 in 佐伯（10月25日、26日）
- ・帆船「海王丸」寄港（10月31日～11月4日）
- ・全国山頭火フォーラム in 佐伯（11月2日、3日）
- ・全国若手ものづくりシンポジウム佐伯大会（11月21日、22日）

(4) バイオマス産業都市認定（11月10日認定、18日認定証交付）

今回の認定を契機に、これまでの取組に加え、より一層のバイオマスの利活用を進めること

により、環境に優しいまちづくりや関連企業の誘致を進めていきます。

(5) 合併算定替え終了に伴う地方交付税の動向

「一本算定」に加算される額が、平成 26 年度は 5 億 714 万円となり、地方交付税の減額幅が縮減されることとなりました。

地方の実情を踏まえた新たな財政支援措置の実現に向け、私が幹事を務める「合併算定替え終了に伴う財政対策連絡協議会」として、7 月と 11 月に総務省などに要望活動を行いました。

しかし、例えば、消防団にかかる経費など、住民の安心・安全に直結する部分で、財政措置が必要と思われるものがあります。引き続き、国に対するはたらきかけを継続していきます。

3 新年（26 年度～27 年度）の主な取組

(1) 市制施行 10 周年記念事業

① 記念式典

3 月 3 日（火）の 9 時 30 分から佐伯文化会館で開催予定。内容としては、式典のほか、郷土出身者による記念講演などを予定しています。

② 記念事業

平成 27 年度を通じて、歴史文化、スポーツ、環境、農林水産、市民活動等、幅広い分野で記念事業を展開します。具体的な内容は、今後、随時決定していくことになります。

(2) 東九州自動車道関連

① 佐伯～蒲江間開通（3 月）

佐伯～蒲江間（20.4km）の開通により、佐伯市内の高速道路がつながります。「生活の道」、「命をつなぐ道」、「活力の道」として、佐伯の未来をひらく大きな力となることを期待しています。

また、併せて整備される「佐伯堅田インターチェンジ」は、総合運動公園に隣接するため、体育施設を活用した活性化にも寄与するものと考えています。

② 記念事業

ア) 開通記念式典（国交省主催）・・・開通日に総合体育館で開催予定。

イ) スポーツイベント・・・開通日の 1 週間前を目途に、サイクリング、ハーフマラソン、ファン・ラン、ウォーキングを本線上で開催予定。

ウ) 物産展・・・開通日に佐伯堅田 IC で、地域の特産品を扱った物産展を開催予定。

※開通日が発表されていないので、まだ日時をお示しできません。決定次第、お知らせしたいと考えています。

(3) 大手前開発基本計画の策定に向けて

12 月 10 日に、大手前開発基本計画協議会・市民会議・高校生部会から合同で提出された「基

本計画提案書」の内容を踏まえつつ、3月までに、市としての基本計画を策定する予定。

(4) 完成する施設

①かまえインターパーク

特産品直売所、レストラン、トイレ、案内所を備え、佐伯市を訪れた方々の交流の場を提供するほか、地域情報の発信により、農山漁村と都市との交流を図る施設。

②城下町観光交流館

山際地区周辺で、観光案内、観光客と市民との交流、観光情報発信などの役割を担う施設。

③歴史資料館

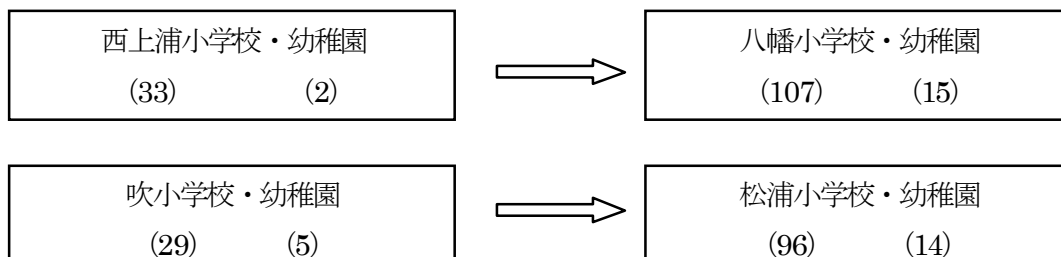
歴史資料の収集・保管・展示などにより、市民の教育・学術・文化の発展に寄与する施設。

(5) 学校関係の事業

①蒲江統合小学校建設

平成 29 年 4 月の蒲江地区小学校の統合に向け、統合小学校の建設に着手。起工式は1月下旬～2月上旬に予定。

②小学校統合（4月1日から）



※カッコ内は、現在の児童・園児数